

2020年の日本経済をよむ

嘉悦大学教授
高橋 洋一

- *ねずみ年には政権交代が多発
- *政治日程から衆院解散を予測する
- *失業率から見ればトランプは合格
- *備蓄230日で半年の紛争なら対応可能
- *ダウと為替で日経平均の予想は出来る
- *消費増税の影響を解明する
- *ポスト安倍は誰になるのか
- *日本の財政赤字は問題なし
- *国の信用度は格付けよりCDSで確認
- *低金利時代は公共投資の好機



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は初めて嘉悦大学の高橋教授においていただきました。ご存じの方も多いかと思いますが、東京大学理学部を卒業された後、大蔵省に入省され、小泉内閣と安倍内閣で改革チームの一員をされました。その後大学に移られて現在に至っております。世間では異端の論を述べられる方だと受け止められております。日本経済についてはいろいろな方のお話を伺ってまいりましたが、当たり前前のことでないこともちゃんと聞いておかなければいけないと思ひまして今日は高橋先生においでいただいたわけです。じっくりお聞きしたいと思います。それではよろしくお願いいたします。（拍手）

ねずみ年には政権交代が多発

高橋 皆さんこんにちは。当たり前じゃない話をしたいと思ひます（笑）。本人は当たり前前だと思っているんですけども、普通の人と言うと当たり前じゃないとよく言われる。私は大学では理科系というか、東大の数学科です。東大の数学科なんていうのは半分以上変人ですが、小学校の頃からそう言われていますので何ということはありません。

今日は日本経済をよむということです。私もともと経済学専攻ではないんです。ですから、実は経済学者と言われるのは非常に恥ずかしくて、学位は数理分析で取っているわけです。数理分析をするときに経済学は簡単に、ビジネス